

|  |   |
|--|---|
| <b>【技術の名称】</b><br>長谷工RC梁打継ぎ工法<br>ー打分け材を用いた鉄筋コンクリート梁の鉛直打継ぎ工法ー | 性能証明番号：GBRC 性能証明 第14-19号<br>性能証明発効日：2014年9月30日<br><b>【取得者】</b><br>株式会社長谷工コーポレーション |
|--|---|

**【技術の概要】**

本技術は、柱・梁のコンクリート強度打分けや工区分割を目的として、現場打ち鉄筋コンクリート造梁に、モルタル製またはエキスパンドメタルやメタルラス製のコッター付き打分け材を打ち込むことにより、梁に鉛直打継ぎを設ける工法である。これにより打継ぎ部の打ち止め性能およびせん断伝達性能を確保できる。

**【技術開発の趣旨】**

一般に現場打ち鉄筋コンクリート梁のコンクリート鉛直打継ぎ部には、エキスパンドメタル、メタルラス、エアーフェンス等が使用されている。しかし精度よく打止めることは困難であり、漏れや分離などを生じ後工程に問題を生じるとともに、一体化について危惧されている。特に高流動コンクリートでは打止めが困難な場合がある。本工法を使用することで高強度コンクリートであっても精度よく打止めが可能であり、一体性を確保することができる。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者から提出された「長谷工 RC 梁打継ぎ工法 設計施工指針」に従って設計・施工された鉛直打継ぎ部は、使用限界時（長期荷重時）に使用上の支障が生じない。損傷限界時（短期荷重時）に修復性を損なう損傷が生じない。安全限界時（極めて稀な地震時）に同工法の設計施工指針で定める終局強度を有している。またコンクリート打設時に先行打設するコンクリートを精度よく打止める事ができる。

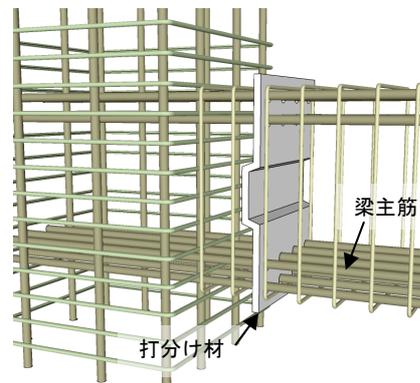


写真 打分け材の設置方法

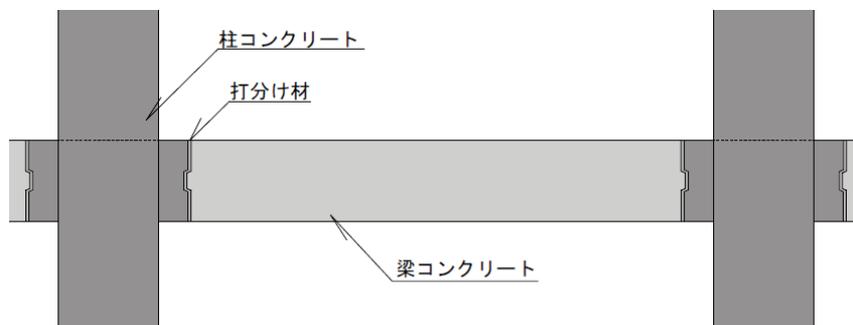


図 本工法の概要

**【本技術の問合せ先】**

株式会社長谷工コーポレーション 技術研究所 担当者：平田延明 E-mail：Nobuaki\_Hirata@haseko.co.jp  
〒343-0822 埼玉県越谷市西方 2968 番地 TEL：048-988-7717 FAX：048-988-7727